

## 第45回市民ふれあいトーク =花と緑あふれるまちづくり=

日時 平成25年5月25日 13:30~15:00

場所 ライフパーク倉敷

### 要約版

#### 《市長》

皆さんこんにちは。今日は土曜日の午後お忙しい中、多くの皆様に市民ふれあいトークにお越しいただき、心から感謝を申し上げます。「花と緑あふれるまちづくり」ということで、公園緑地課の皆が、がんばって花と緑を飾ったように聞いております。それから上のバラは種松山の管理組合の皆さんが、今作ってくださっているのを、飾っていただいていると伺っております。市民ふれあいトークでこんなに花がたくさんあるのは初めてです。とても嬉しいです。今日は3時ぐらいまでの間で、皆様と花と緑に関する意見交換、またまちづくりについて、こういうふうには花と緑を活用したらいいんじゃないかとか、自分たちはこういう活動をしているけど、皆にもっと知って広めてもらいたいとか、そういうお話をいただければ有難いなと思っております。

この「花と緑あふれるまちづくり」、倉敷市民憲章はお配りしてる黄色い紙に「私たちは、日本のふるさと瀬戸内海と母なる高梁川に生まれ、古い伝統と洋々たる未来にかがやく倉敷市民の誇りをこめて、1つ自然を生かし、緑と花のあるきれいな環境をつくります。」これをいつも皆で唱和していると思います。市民憲章が5項目あるんですけど、その中で一番上に置かれているということで、この瀬戸内海や高梁川、また山や海、緑と花の環境を作っていくという想いが、昭和47年に策定されております。策定されて40年ぐらいでしょうか、合併してまちづくりについて大きな市民憲章、目標を作るということで、作られた一番大きなものになっております、その市民憲章の最初に書いてあるということで、大切にしていきたい内容であるわけです。

この花と緑について、倉敷市はこれまでどういう計画を作ってきたかということ、まず昭和52年から倉敷市の緑化計画を作っております。昭和52年から10年ごとに新しくなるということで、昭和52年から10年が第1次計画、昭和62年からまた10年ということで。今あります計画が平成8年のときに作りました倉敷市の花と緑のシンフォニー計画というのが、市の第3次緑化計画となっており、平成8年から平成27年度までの間に、市の全体としては、6割ぐらいが山とか緑の所になるわけですが、大体人が住んでいる市街化区域の所で、3割以上の緑化を目指していこうということが、計画の中に大きく掲げられております。まだそこまでは、いってないんですけど、それを目指していく為にどう皆で頑張っていきたいかということで、今の緑化計画、現在で言うと倉敷花と緑のシンフォニー計画というのが平成8年から平成27年度間でありまして。その中の5年ごとに分かれて今20年の内の一番最後の5年になっております。

その中で今どのようになっているかということ、大きく5つ。「緑を守る」、単純なことですけど、皆で緑を守って環境を悪くしないように、ゴミを捨てたりしないようにしましょうということ。「緑を増やす」、公園を増やしたり道路の緑化をしたり、工場の緑地を増やしてもらおうとか、遊休地も緑化が進むようにということをしたり。「緑を育てる」、これは今日来てくださっている方で関与してくださっている方も多いと思いますが、花いっぱい運動と

か、花の銀行、また緑化の推進とか、地域でフラワーロードに関係してくださっている皆さんとか、緑をみんなで育てていきましょう。そして「緑を愛する」、環境を皆に知らせていきましょう。緑のことについての啓発、ポスター、コンクールをしたり、緑に関する表彰をしたり、イベント、緑化フェアをしたり、そういうことをして皆に緑のよさを分かってもらいましょう。「緑を支える」ということで、先ほど申し上げました様々な団体の皆さん、企業の皆さん、行政とで支えていく体制を作っていくまいかということなんです。今あります倉敷市緑の基本計画、今は倉敷花と緑のシンフォニー計画というんですが、その中に大きく5つありまして、市民の皆さん、企業の皆さん、そして行政とで、シンフォニーというのは音楽の交響楽団ですね、皆でこれを融合してやっていきましょうと、大きくはこの計画に書いてあります。

今日、後ほど皆さん達の中から、活動のお話もお伺いしたいと思っておりますが、緑のことについて市がどういうふうにか、最近考えているかということをお聞きしたいと思っております。先ほど緑化率を増やしていきたいということ、チボリ公園が閉園したあとに倉敷市としては、あの土地を、クラボウさんの土地なんですけれども、全部民間の方に、例えば商業施設を作ったとしてもどうぞということではなく、まずクラボウさんに市の方が申入れをしまして、とにかく倉敷市の駅前が一番に花と緑の場所を作りたいということで、真ん中の一番良い所を倉敷みらい公園約2ha、花と緑、主に芝生広場ですけど、緑の公園を造りました。そして倉敷市内の各地域、倉敷みらい公園が出来ましたのが平成23年の11月ですけど、その後玉島では大橋の所の直ぐ下に玉島のみなと公園が平成24年の6月、夏に出来ました。また、市の大きな公共施設を造っていく時に、児島で言いますと児島市民交流センター、また玉島で言いますと玉島市民交流センター、また水島で言うと水島の旧サロン、今の倉敷環境スクエア、また児島の駅前公園もそうです、大きな市の複合的な施設を新たにやり替えなどの時に、皆さんが大きく集まれる所には、なるべく芝生を使った、そしてそこで憩いの場所になる所を作っていくという想いで、取組みをしております。また毎年夏の時期に、学校、幼稚園、保育園で緑のカーテンということで、朝顔を植えていただいたり、ゴーヤを植えていただいたりということで、簾のような物を作ったり、それから幼稚園、保育園、小学校の校庭の芝生化というのを1年に合計5園ずつぐらいですけども、皆さんのご協力をいただいて増やしていくということで、今頑張っている所でございます。勿論、園にもよって随分環境も違いますので、必ず全部できるかどうかということとは分かりませんが、なるべく緑を増やしていきたい、そして花を増やしていきたいと思っております。倉敷緑化フェアということで、非常に大きな活動をしていただいておりまして、そこに市内の子供さん達からポスター展ということで、大変多くのポスターを作っていて、それを市でも表彰したり、また昨年は花いっぱいコンクールということで、花と緑の環境を良くしていきたいという想いを皆さん達に是非分かって、自慢の花壇をコンクールに応募してもらいたいということで、昨年平成24年度から花いっぱいコンクールを市で始めたわけですが、何と昨年度はたった15件しか応募がありませんで、大変寂しい件数だったんですが。ただ、今日、後ろに花いっぱいコンクールで入賞をされました皆さんの素晴らしいお庭や花壇を飾ってあるんです。本当に素晴らしいものを応募してくださっているんですが、皆さんに知られていないということで、今年も5月から7月まで花いっぱいコンクール、第2回目なんですけれども、皆さんの中で自慢の花や緑をこういうのを作っている。また市によっては、例えばこちらはきれいなお家の庭を造られている、こちらは凄

花壇をされているというのを、観光地のようにして観光パンフレットに載せていらっしゃる場所もあります。そこまではちょっとすぐには難しいと思いますけれど、皆さんが花と緑に関心を持っていただきたいと思います。皆様には、花の銀行や花いっぱい活動の団体に登録をしていただいたり、推進委員さんとして活動していただいたり、地域の環境ということで、頑張ってお取り組みをしてくださったり、色んな道の所で花の植え替えを行なっていただいたり、公園の愛護会で活躍していただいたりということで、本当に色々お世話になっておまして、ただ倉敷市としては地球温暖化対策、環境ということで益々、花と緑に関する施策を一生懸命進めていきたいと全般的には思っております。そうした中で今日皆さんの方から、市が今お話をしました活動内容であるとか、自分がやっている時に、もうちょっとこうしたらいいんじゃないかとか、こういうことが困っているとか、そのようなお話をいただくと、これからの倉敷市の花と緑の活動に関する非常に大きな指針になり参考になりますので、是非ともお話をお聞かせいただければと思っておりますので、よろしくお願ひします。

#### 《参加者 A さん》

友達を倉敷に招待したら、倉敷は花のポットをようけ並べるとなると、きれいに花も咲いてるなど言うんですが、花はきれいですけど入れ物がいい加減になっている。同じ花を植えるんだとしたら、もうちょっときれいにできんじゃろうかと、ネットの仲間が60人くらい集まって話をした時に、そういう指摘がございました。僕らのエンジョイスポーツは、できる限りひまわりに行って花を買うことに努めております。我が家でもようけ買うんですが、我が家は年金株式会社に勤めておるんで、ようけ買えません。それでもうちの奥様は両手に抱えきれんほど買って帰ります。単純で申し訳ないですが、それだけです。

#### 《市長》

ありがとうございました。ポットが古くなっているというお話をいただきました。ポット入れ物ですね。順次更新していくようにします。入れ物に入れてくださっている所と、囲いで土から直接植えて手入れをしてくださっている所と、それぞれあると思います。地域によって本当に古くなっている所もあると思いますので、いっぺんに全部というのはなかなか難しいので、順番になるべく更新をしていきたいと思っております。風で飛ばないように、ある程度の重さがあるかというのもあるかと思っておりますので、それぞれの所を拝見してからやっていきたいと思ひます。

#### 《参加者 B さん》

水島の八間川緑地・水島フラワーロード協議会の者です。平成17年に岡山国体がありました。その前年に花いっぱい運動で、色んな県外から選手や家族が来るので、花いっぱいでお迎えしようということから始まって。相生町から千鳥町の八間川が約2.5kmあります。両岸合わせますと5km、一部駐車場がありますから4kmにわたって雑草が生えておったんです。雑草を、年に1回市が委託した業者が草を刈っておったんですが、花は植えておりません。そこで当時、秋の花コスモスにしようということで、選手が来る時期に合わせてやりました。国体が済んだからもういいんじゃないかという話もありましたけれど、フラワーロード協議会を設けて倉敷市に登録して、足掛け9年ずっと花を植えております。年に3回花

をいただいて、今大変助かっております。

一つ問題は、八間川の土手はきれいになったんですけど、肝心の川の水が下水道扱いで、コンスタントに水がありません。大体10cm内外の水しか流れてきませんし、藻が生えてゴミが引っかかるといわゆるどぶ川になるわけです。花と緑で環境を良くしようという我々の願いの中で、川の中がそういう状態では、なかなか一体となってきれいなまちづくりということには、ならんのかなあないのか。それで度々水をお願いしておりますけれど、水利権の問題、用水と下水道の扱いの問題。昔からあれは下水道だったんです。ところが今下水道が完備して、川に下水道の水を流すことはなくなりました。それからクラレの排水もありましたが、これも無くなりました。きれいな水を流していただくと非常にいいかなと思う。夏に水をやろうと思っても、10cm位しか水がありません。いっぺんに水を増やすということは、色んな諸条件があるから難しいと思いますけれど、月に1、2へんとか、10日にいっぺん位水を流そうという措置をしていただくと同時に、年に1回ぐらいはどぶ川の大掃除を市の予算措置でやっていただきたい。これはスケールが大きいから我々の手ではとてもできるような小さな用水とは違いますので、その辺のご配慮をさせていただいて、土手はきれい、水もきれい、水島の町もリフレッシュされたなど、こういうまちづくりを望んでおりますので、ご配慮をお願いしたいと思います。

#### 《市長》

ありがとうございます。八間川のことを言っていただきまして、昔から歴史的な経緯もあるんで、なかなかいっぺんには難しいかもしれないということをご理解をいただいているとは思いますが、確かに今のままではいけないとは思っております。他の地区の方もいらっしゃるんで折角ですので、今日水島ということもあって持って来たんですが、こちらが水島の郵便局の方で、向こうが水島の警察署の方になって、八間川がここにあるわけですけど、現状がこちらが八間川でしたら3車線あって、一つ停車帯というのがあります、コンビナートの車の関係、これまで随分使っているということもあって、こういう造りになっていたんです。けれども、3車線で何とかいけるんじゃないかということにもなりまして、そこを緑地帯といいますか、花や緑が植えられるような場所に整備をしていくというのが、今のお話の中でもありました。水島地域のまちづくりのリフレッシュをするということで計画の中でこういうものがあっております。今のお話は川のことだったと思いますので、確かに歴史的な経緯等もありますので、水の増量をするというのはなかなか難しいところもあると思うんですけども、ただ汚いという所は勿論そうだと思います。水島の町がきれいな町になっていくという基本理念がありますので、併せてリフレッシュの計画とは違う意味で川がきれいになっていく方策を市としても考えたいと思っておりますので、地元のご協力も大変必要だと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

#### 《参加者Cさん》

私は昭和の終わりごろからゴミと雑草を追いかけてきました。この前水島愛あいサロンでもその話をして、もうやめりゃあいいのにと後ろの方で思われる方もいると思うんですが、セイタカアワダチソウ、ヒメムカシヨモギ、ハタケニラ、八間川沿いにもハタケニラがいかないように私も一生懸命、孤軍奮闘しております。

それと5つ、6つ用意してきたんですけど1つしか言えないということで、まず1つ言い

ますと、水島支所で既に食堂のそばでヒラドツツジが50本位枯れそうです。水を全然遣ってない。平成12年に水道代が50数万円要ったと当時の支所長に文句を言われたことがあるので、古い記録が出てきたので簡単に読みます。12年7月29日市長殿、その頃提案制度というのがあったんです。水島支所脇の公園の件、水島支所脇の公園は緑に元気が無く、見るに見かねてペンを執りました。支所には大勢の方がおられて窓際で外を眺める人は大勢いますが、公園や前方の植木に水を遣った方がいいと考える人はいないようです。7月中旬に庶務課長さんをお願いしてやっと水遣りを始めてもらいました。私が近くにおりますので、水を遣りましょうかと言いましたが、昨年8月にも同じことを言いました。この後なぜ木が枯れたかという検証をしたんですが、今までの支所の間違った水の遣り方、遣らないとなると全然遣らない、遣るとなると一日中水道の水を出しっ放し、雷がなり夕方、夕立が来そうでも水は出ている。午後3時ごろかんかん照りの時、移植間もない木に頭から水を掛けて喜んでいる人もいた。そういう人がいたんです。ということを書いて、去年今水島支所の次長さんにも読んで上げたんです。水を遣ってもらいたいということ、雑草が多いということ、それから水島中央公園にもヒラドツツジを去年20本くらい植えたけれども、ほとんど枯れまして、やっと5本生きております。

#### 《市長》

水をとにかく遣らんといけんということですね。市役所の本庁でも各課で分担して、市役所の周りの木とか花に水を遣るようになっておりますので、その時に支所の方でも分担とか、枯れないように、雨が降っているときは水を遣らなくていいと思うんですが、とにかく水を遣って枯らさないように各支所に言いたいと思います。根本的なことですが、ありがとうございました。

#### 《参加者Dさん》

私が今日お話をさせていただくのは、環境衛生の立場で。花と緑のまちづくりの中でどういうスタッフが構成されて、まちづくりを推進していくというか、それが大きな一つの課題ですね。法律的な話になるんですけど、昨年の6月に障害者優先調達推進法というのができたわけです。この4月に施行されております。障がい者が作った製品を優先的に地方公共団体、国を含めてあるいはその関係の独立法人等の組織は、調達して使用しなさいと法律で定められている。倉敷市は今月中にその申請書というのか、書類を出してくださいという形になっているそうですけれども。

真備町で一つのモデル地区として、支部が障がい者と地域のまちづくりの人と、環境衛生の3つの共同作業といいますか、そういう形で今年度既にモデルケースとしてスタートしております。その中で障がい者施設で作った花の苗を購入すると。フラワーボックスに入れる土も、その施設から購入するという形で、運搬とか植える時に地域のまちづくりの人、そして環境衛生の協議会の人、そして障がい者施設の障がいのある人達、その3つのそれぞれが共同してまちづくりを推進していこうという形で、今後、真備町の地域では一つずつでも支部を増やして行って、本当の真のまちづくりとはどうあるべきか、あるいは福祉のあるべき姿はどうあるべきかという形を追及していこうと、今取り組んでおります。けれども、ただ一つ心配は国もそういう方向を出したわけですけど、今までまちづくりとか、花いっぱいについて必ず補助金がある程度、それにセットで付いてきているわけです。花を買う、ある

いは土を買うと、これは優先調達で大丈夫なんですけれども。問題は、障がい者がそこで就労の場と工賃という形で、幾らかの労働に対する対価を出していただきたいと。地域のまちづくりの人達は無論ボランティアですから。そこで従来の補助金からいったら、そういうことを出すことはならんと思うんです。それでは障がい者が地域の中で、働く場所と工賃、岡山県も障がい者の工賃を2万円ぐらいを5万円に上げていく大きな目標を持っているわけです。それに向けて、折角、障害者優先調達推進法という法律で障がい者が働く場所、あるいは活躍する場所、それに対し少しでも報酬を提供するというかたちで。これからの倉敷市のまちづくりは必ず障がい者が参入して、素晴らしいまちづくりにしていこうという形の新しいスタイルと私は思っているんです。真備町で今モデル地区として、1支部で取り組んでおりますので、この輪を広げるのに行政が側面的に色々協力していただければ、より素晴らしいまちづくりになるのではと思っております。

#### 《市長》

ありがとうございます。障がいのある方のまちづくり、特に花と緑のまちづくりへの関与についてお話をいただきました。福祉の施策の話も入っていたので、ちょっと入り組んでいたかと思えますけれど、さっき言われました障がい者の方が作られる物を、優先的に公共団体の方で購入しましょうという法律ができて、市の方でも一部既にやっているところもあるんですが。法律が施行されたということで、よりそういうところに取り組むようこれからしていくと思います。福祉の施策になりますので、今こうですとも言えないのですけれど、障がいのある方が働かれる、割り箸を袋の中に入れたりとか、ストローを作られたりとか、色々活動がありますので、そういう時に、今後広がっていく時に、緑に関する活動とかを入れるかどうかということの検討になっていくんじゃないかと思いますが。ご趣旨は理解しましたので、今後のときに検討させていただきたいと思えます。ありがとうございます。

#### 《参加者 E さん》

私が住んでいる老松小学校で運動会がありました。上の女の子が小学生で、それを応援にと家族で大高街道から倉敷西小学校へ歩いたんですけど、市道と県道にまたがっている所の花が物凄くきれいで。今日それを見て子供が驚愕の「わー」とか、物凄く私にアピールするんです。花がきれいで。ボタンとバラですけど。道路に面しているお家が何軒かあるんですけど、どのうちも全部植えとんです。花とボタンを。僕もこれは凄いなあと思って、「こっちにもあるよ」と言ったら子供がヨチヨチ歩きでワーと行くわけです。その時思ったのは、言葉も話さない子供も花を見ると驚嘆するわけです。こんなに感激するもんかなあ。大人は花とか緑とか言葉で言うんですけど、子供にとっては関係ないですから、きれいなものはきれいなんです。そういうのを我々大人が、引き継ぐというか、次の世代にバトンタッチするとか。今日も天城高校の若い4人が来られていますけれども、そういうことを今日思ったんです。市長さん是非、心にインプットしていただきたい。それと私は毎日散歩するんですが。ゴールデンウィークにロンドンの二人のカップルが観龍寺というお寺があるんですが、たまたま、お茶のパーティーをしてたんです。観龍寺の花とか木が物凄くきれいです。外人とのふれあいも花を媒介として、我々がもてなしと言ったら大きな話ですけど、そういうことも出来る。その人達とちょっと離れて、長崎から来ている若い女の子ですけど、ナナハンのバイクで二人来とるんです。阿智神社で、藤の花が満開で物凄くきれいで、ずっと全国行脚し

ている人なんですけど。たまたま倉敷に来て、今度来るときは倉敷を目指して来たいと。倉敷は美観地区だけがきれい而得名だと思っていたけれど、市民のもてなしも素晴らしいし、阿智神社のたまたま今年藤の花が凄かったんで、去年は大した事なかったんですけど、あれを見て同じ日本人、県外の人でも感嘆するわけです。それは我々も市民で当たり前と思わずに、県外の人から見ればそれが珍しいことなんです。そういうことを発信するという、そういうことをして頑張っていきたいなと思います。

#### 《市長》

町の花や緑が、お孫さんからどう見られているか、外国人の方からどう見られているかというお話だったと思います。私が前に驚嘆したことがあって、それは我々の姉妹都市ニュージージーランドのクライストチャーチに姉妹都市交流事業で4年前に行ったんですけど、その時クライストチャーチの町では、市のだ真ん中に物凄く大きな公園がありまして、そこは芝生があつたり木が物凄く生えていたり、クライストチャーチはそれぞれの家の前の所を、花壇のところもありますし、家の敷地の前、大体2mぐらいの所が芝生と言うか、花壇みたいにして、花を植えたり芝生の手入れをして。芝生をちゃんと刈ってないと、罰金になるそうです。罰金になると言いますか、芝生をちゃんと皆、1ヶ月に1回刈って下さい。刈ってなかったら市が刈りますけれど、後で料金になりますよということになっているらしくて。住民の皆さんの緑に対する想いと、それをきれいに保つという想いにびっくりしたんです。今言われたようにまちづくりに、花や緑を植えましょうということだけじゃなくて、それをいかにして周りの人が見た時に本当に良く手入れをしてくださり、きれいになっているということは、まちづくりがうまくいっている証拠だと思いますので、そういうところまで見ていただけるといふように思っております。

#### 《参加者Fさん》

市の緑化推進員をささやかに手伝いさせていただいている者です。私は庄地区のものです。公園を利用させてもらってる者といまして、市から管理を任された部分があるんです。非常に公園が荒らされるんです。誰がやっているのか、非常に怒るんですけど。それも込めて、今日市民憲章を付けていただけてますけど。せっかく立派な市民憲章を充分知らない市民が多いんじゃないか。市役所の中にも碑があるようですが、もっと碑としてではなく、市民憲章の中でも市長さんがおっしゃったように、一番上の項目にあります「緑と花」。それを兼ね合わせてよその市でも見たんですが、公道の一角を老人クラブとか婦人会に、管理を、花を植えさせて。ハード面は市がやる。それで看板付けてきれいにやっているのを見たことがある。そういうことが出来れば、目指すところに。

それと、缶拾いですね、年2回、一斉清掃があります。缶拾いをやってみて思うんですが、汚れたところにはよく缶を捨てるんですね。最近減ったようですけど。きれいなところには誰も汚すようなことはやらない。この花と緑でも、きれいな花壇があれば、やらないと思うんです。花壇、あるいは、公園なんか市民憲章をうたった立派な、あかぬけた看板を作って、逐次学区ごとぐらいに。ご検討を提案したいと思います。

#### 《市長》

ありがとうございます。市民憲章を知らない人が多いということでありましたが、一番

若そうな、前に座ってる4人の高校生の方が市民憲章を知ってるかどうか。市民憲章って知ってました？ほとんど知らない、ということですね。倉敷市の市民憲章は本当にいいと思うんですよ。いつの時代でも。1番が「自然を生かし、緑と花のある」でしょう。それで2番、「青少年には夢、老人には安らぎのあるあたたかい社会をつくります」。そして3番、「秩序を守り、平和で安全なまち」、いつも必要なことです。4番、「働くことによるこびをもち、明るく健康な家庭をつくります」、5番もすごいですよね、「教養を高め、世界と通じ、個性ある文化をつります」。ですから、私も実は公約を作るときに、いつも市民憲章を見返して、今の時代はここをもっとPRしていったほうがいいんじゃないかという思いをもってこれを見てるんですけど。市民憲章を掲示している所がまず少ないわけですね。こぎれいな看板ですね。ちょっと今考え付いたんですが、市のいろんな施設で置かないといけないところもあると思います。逆に、地域でいろいろ皆さんが活動していただいている中で、地域で貢献したいという団体、例えばライオンズクラブさんとかロータリークラブさんとかがあります。そういう皆さんから市のほうに何か寄贈、例えば花や木を10本寄贈したいという方・団体もあるんです。そういう時とかでも、この市民憲章を併せてというか、分かるものを一緒にお願ひしますというか。いろんなやり方があると思いますけど、もっと1番に花と緑のことが書いてある市民憲章を、市民の皆さんが知るといことは必要なことだと思います。誠にありがとうございます。

#### 《参加者 G さん》

花作りということで、路地に花を植えて2年ほど経ってるんですが、結構皆さんの評判がよくて。花を植えたり、水をやったり、参加する人も結構増えてまいりまして。最初の一年は大変だったですけど、持続することはいいことだと実感しました。その状態の報告書とか、申請書を出すんです。私、環境衛生美化推進の方へも入ってますので、これも申請が必要です。それから、公園緑地課が今やられてます花いっぱい運動、これも同じです。もう一つは市民活動推進課が今取り扱っておりますアダプトプログラム、これも同じような作業に対するの支援です。こういった、私が知りえる限りでも三つぐらいは、花に関連した推進をやる場合には、そこに手続をとらなければいけない。ですから私は最近、本庁へ行く機会が増えてます。これを何とか一元化できないものか、というのが今日の私のお願いです。窓口は一本化していただいて、実際にその内容を確認していただいたうえで、実態を振り分けるといふか、そういうことを仕組みとして取り上げていただきたい。

もう一つ、お願いしたいのが、花作りで花壇を作るんですけど、道端を使います。種松山の方面に向けて200mくらい作っておりますけれど、花道会という形で、我々が当然行くんでしょうけど、種松山に行く時に花道になるようにということで、400mくらいにしようかと思ってるんです。その場合、土留めが必要です。それを作業するのが非常に大変。今は、モウソウダケを2本ぐらい重ねて、土留めに使ってます。これは、2・3年がいいところかなと。一つの情報ですけど、河川の改修等で出た石、これをそういったところに石垣として使ったらどうかというお話がありました。仮に土木とか建築の方でそういう案件があって、結構石がいっぱいあるよという情報があれば、その石をそういった所に利用するとかですね。あるいは、そういう所に土を持ってくるときに、汚泥を使って腐葉土を作る、今産業課なんかで、一生懸命やっておりますけれど。そういったものを利用させてもらうとか。何か組織として、うまく使える、リユースされる、そういうことを少し真剣に考えていただき

たいなと思っております。以上でございます。

#### 《市長》

地区で作られて3年ですか。ありがとうございます。本当に、花とか地域での活動とかをしてくださっていると、そこに地域の皆さんが集まって来られて、一緒に活動をしてくださるというのは、本当に有難いと思います。今、地域の小学校で、池田小学校の殺人事件のことがありまして、小学校がそのまま門を閉ざしてから、地域との関係が遠くなったということもありますので、今、小学校と地域の皆さんとをどうやってもっと近づけるようにするかということで、学校の花植えとか、昔のこま回しとか、学校で昔の授業をやってもらおうとか、学校でも取り組まれています。本当に有難いことだと思っておりますが、申請書が色々あるわけですね。やり方がいくつかありまして、多分それぞれの制度はそれぞれに基づいてあると思うので、どこかで相談してこれだったらアダプトだとか、これだったら花いっぱいできるとか、ということにするのか。今ある申請書をもう少し簡単にして、改善をやりやすくするか、どっちかですね。なかなか統合も難しいと思うんですが、少しでも負担がないように、検討する方向で考えたいと思います。

それから、土留め、石垣などのことは、いいアイデアを言っていたと思います。市でもいろんな工夫をしまして。学校の敷地を作るときに、土を盛らないといけない時に、その土を本当なら買わないといけないわけですよ。莫大なお金がかかるわけです。その土を買うんですが、国交省が河川の浚渫をして、土が出ます。国交省は捨てないといけません。捨てるにはお金がかかりますよね。それで、捨てる代わりにうちの方に安く売ってもらおうとか、そういうような行革努力もしてるんです。今このことがすぐできるか分からないんですけど、とてもいい考え方を言っていると思います。市でできることはしたいと思っておりますので、ありがとうございます。

#### 《参加者 H さん》

倉敷天城高校サイエンス部の者です。私たちは部活でグリーンカーテンを育てているんですけど、後ろの方にも写真を貼っていただいて、賞もいただいたんです。ありがとうございます。今は3年目位ですけど、徐々にグリーンカーテンの範囲を広げて、育てているんです。教室の前で作って、授業を受けてる人たちに聞いてみたら、とても涼しくていいという意見をいただいて。とてもうれしいです。グリーンカーテンを育てるということで、植物に対して興味も湧いてきて、植物も誠意込めて作らないと、弱い植物もあれば強い植物もある、そういうこともよく分かりましたし、コンテストに応募して、大人の方々がこういった会を開いているように、植物に対していろんな活動をしていらっしゃるんだなということを初めて知ったんです。先ほどの市民憲章、私たちも高校生ですけど、全くそういうことに関して知識がなくて、クラスメイト達とかも知らないと思うんです。倉敷市のほうで私たちのようにあまり何も知らない学生たちに、どういった活動をしているかとか、これから先どういったことをしていきたいかということが、とても気になったので、聞かせていただきたいと思っております。

#### 《市長》

しっかりした意見を言っただきまして、ありがとうございます。緑のカーテンは、何

を作ってるんですか？アサガオとフウセンカズラとゴーヤ。サイエンス部というのは、光合成とか物理とか、色々あるんですけど。皆いっしょですか？それぞれ内容が違うんですか？

《参加者 H さん》

内容は違うんですけど、サイエンス部のみんなで、植物のお世話をしています。

《市長》

みんなサイエンス部ですか？ありがとうございます。緑のカーテンをしてもらうことによって、いろんなところで勉強になったということで、とても嬉しいなと思いました。また、大人の方がいろいろ考えているんだということを知ってもらって、みんなが大人になるときに、いろんな考え方があるんだと言うことが、今日分かってもらったんじゃないかと思うので、よかったなと思います。

それから市民憲章のこと。小学校とか中学校でやってないんですね。小学校か中学校でやらないといけませんね。小学校でも今の内容だったら大丈夫ですよ。教育長に言って、倉敷市民なんだから市民憲章ぐらいは大体分かるようにしたほうがいいですね。

それから、市がどういう方向に向かっているかということについて、こういう場でお話をしたり、広報紙とか。今月は〇〇月間でこういうことに力を入れてますとか、愛育委員さんはこういう活動をしていますとか、市にいろんな活動があるんですけど、広報紙は家に来ますかね？見ますかね？みんなはどうですか？あんまり見てない、分かりました。5月号は朝市だったし、6月号は環境月間ということでカワセミとか、鳥のこと、緑化のことを書いてますので、ぜひ広報紙とかも見てもらいたいと思います。子どもさんから大人の方まで分かりやすいような情報発信をしたいと思います。ありがとうございました。

《参加者 I さん》

私、フラワーロードに関係している水島学区の者です。去年の花、サルビアをいただいたんですが、ほとんど全滅でした。種の関係か天候の関係か、そこのところは分からないんです。今年は強い花、苗をこしらえてもらうようお願いしたいんです。それと、八間川の水を増やしていただきたい。あれは下水だからと言われたら、話が續かない。私も環境にも関係してるんですが、本庁で会議があったときに、水島の八間川が汚いよと言われた。そんなことを言ってくれるなど。市は下水だと言っていて、川が汚いと。うちは川じゃないと言われたのに、どうすればいいのかということで。あれは浦田の雨水が流れている、三間川の下をくぐって流れてるので、きれいな水じゃないんだと言われたので、どうしようもない。水をもらうのは大変だということはよく知ってるんですが、何かの方法があると思う。そのところを市長の方から考えてみていただきたいと思うんです。

《市長》

ありがとうございました。サルビアが全滅した理由は水ですか？弱いんですか？他の地区からも、サルビアが枯れたという話は聞いてますので、なるべく強い花を育てるようにします。八間川はさっきの方も言ってくださいましたけれど、せつかく八間川の整備もしますので、その時に路肩だけがきれいで、水が汚いというのもよくないと思いますので、検討していきます。ありがとうございました。

《参加者 J さん》

私は環境衛生の天城支部の者です。環境衛生では、環境美化部会というのもありまして、その部会は倉敷市全体で、花いっぱい運動ということで活動してるんです。天城支部もその一環として、3年目に入ってきたんですが、管理と金銭と置く場所とかがあり、たくさんの花を飾ることが出来ません。現在はプランターを4個ぐらい各ポイント、バス停とか、サービスコーナーに設置し、今年は共通の場ということで考えてるんですが。その時に前にあるようなプランターを4つほどしてるんですけど、目立たないというか、ちょっと寂しいんです。何か一つワンポイント、こういうところを工夫したらもっと映えるよ、というところがあれば、教えていただきたいと思ひまして。よろしくお祈ひします。

《市長》

こちらの方から皆さんへの質問です。私に聞いても答えは出ませんので。4つのプランターぐらいで、もうちょっと目立つ方法はないか、ということですね。ちょっときれいに。皆さん、どうでしょうか。花の種類を変えるとか、逆に1種類だけで全部やるとか。今はどうされてるんですか？

《参加者 J さん》

今は4個あれば4個同じ種類を、サルビアとか、華やかな黄色を加えて赤・黄色・白、そういう感じでしてるんですが。天城高の生徒が乗り降りするバス停にも置いてるんですけど、反応がよく分からないんです。今から増やしていこうとは思ってるんですが、増やしていく時にこういうやり方もあるよとか、こういう平凡な、そこにあるプランターとか、木製のプランターを使ったりしてるんです。何か皆さんのほうであればと思ひます。

《市長》

何かありませんでしょうか？花いっぱいコンクールの家庭部門で入賞された方が、今日いらっしゃってるんでしょうか？ぜひ、入賞者としての見解を。

《参加者 K さん》

花は女房がやってますんで、花のほうはあんまり詳しくないですけど。私は緑のカーテンで、今年はパッションフルーツを10本ほど植えて、どれぐらいになるか。今2～3mぐらいに伸びてます。秋から挿し木をして、20本ほど作ったんです。近所の人にあげたりで、自分が10本。あれは実がなるんで楽しみにしてます。

《参加者 L さん》

プランターに植えるんでしたらね、ペチュニアがいいですね。それで私も今植えてるんですけど。サルビアはだめです。すぐ枯れます。失敗しました。まだマリーゴールドがいい。マリーゴールドは強い。プランターからあふれますから、ペチュニアがいいです。これは3つか4つ色がありますから、混ぜて植えるだけでいいです。

《市長》

大きくなるんですね、あふれ出ると。ペチュニアがお勧め、ということでございました。

#### 《参加者 M さん》

婦人会の者です。地区花に入っております。私のところは随分前に川を埋めてできた土地です。役所の方からこれの管理をしてくれとってこられたのが最初で。そこを管理をしましょう、花壇でもしましょう、フェンスを張ってくださいと言いました。そしたらその時フェンスを張ってくださったんですよ。犬が走ると植えたものが全滅になる、それでそこを花壇として婦人会の人でやっておりますが、最初に婦人会の費用で水道を引きました。水道がちゃんとあります。それで、コンポスト、環境の方でいくらか費用をいただいて、大きなコンポストを置いております。植えた花、根っこの方はゴミとして捨てます。葉っぱ、草は全部その中に入れるんです。コンポストの中に入れてしっかり踏み込んで水をまいて。一番最初には油かすを入れました。それで堆肥を作ったんです。

毎年ひまわり園から3回花の苗が来ますね。本当にありがたいなと感謝をしてるんです。この冬から春になって、パンジーからペチュニアにかわる時、まだきれいなんです、パンジーが。最初の時はこれをどなたかにあげましょうということで、和井田の保育園にたくさんあげたことがあるんです。道を通る人に、花がいる人はどうぞとって出したこともあります。すると、しっかり土をつけて帰られるんですよ。その土も私たちは必要なんです。婦人会の費用で、1回に大きな袋で5袋ぐらい入れるんです。今年もパンジーがまだきれいなのに、ペチュニアの苗がきた。もったいない。人にあげるのもいいけれど、何か考えましょうよと言って、花壇が三角形のようなその花壇の周りにパンジーをちょっと組み合わせてぐるりと植えたんです。ひまわり園から来るのが、330本くるんです。それで道から見ても一番きれいに見える方法、それをみんなで相談して、ここは白、ここは黄色、その間に濃い赤を入れましょう、青を入れましょうと言って植えたんです。非常に色彩が美しいです。今年の私たちの自慢です。手のすいた人は草を取るか、花柄を取るか、そういうことをしましょうと言ってあるんです。花を植えたら花壇はきれいになるんじゃないんです。まず草をとること。草がなければ自然に花壇は美しく見えると思うんです。ひまわりから持ってきてくださるその花をね、有意義に活用しようというので、毎年これは考えてるんです。今年のパンジーを無理に寄植えのように植えて、中にペチュニアを色分けして植えたのは自慢でした。ひまわり園の人が一生懸命作ってくださったものですから、最大限に有効に使って。道を通る人がいつもきれいと言ってくださるのが自慢の種です。皆さんが市の大きな問題を言われただけけれど、私たちは自分が責任を持ってするところをきちんとやろうという気持ちでおります。

#### 《市長》

パンジーが咲いてる間ちゃんと活用できるようにということですね。皆さんがいろいろ考えてやってくださっているのがよく分かります。本当にありがたいことだと思います。

#### 《参加者 M さん》

水道を婦人会でつけたということも自慢です。肥料も自分たちで何とか作ろうと。参考にして下さい。

#### 《参加者 N さん》

花あふれる街玉島推進会議の者です。主に長尾小学校・作陽大学の周り、新倉敷駅の北口

に花街道型と言いまして、県のおかやまアダプトで、まず倉敷市が仲介してくださって、始めたのですが。今、花あふれる街玉島と言いますのは、10数年前に、倉敷市が若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクールというのを受けました。作陽大学が会場の一部になり、世界から来る若い音楽家のためにどういうふうにもてなしたら良いかなというのがきっかけで、音楽と花というのが雰囲気が合うなということで、花をいっぱいにして迎えてあげようと始まり、毎月第3日曜日に活動をしています。街道型と言いますのは、県道ですから、岡山県と契約させていただいて、管理させてもらっています。10数年経って困っていますのが、街道は大体けやきを植えているんです。道路沿いの花壇にけやきが10～15メートル間隔で植えていまして、植えたばかりの時はけやきが小さいから、根も張らないから、その間に花を植え替えてもきれいにできていたんですが。最近は何やきの根がはびこってきて。けやきもないと、夏歩道を皆さんが歩く時は涼しいし、冬は葉も落ち、環境はきれいの良いんですけど。先ほど水島の郵便局とか支所の一部の辺りを花壇をつくろうかというお話があったと思いますが、そういうときに木を植えないのであればいいですが、木も植えてというと、根がそこから先に行かないようにしないと、そういう花壇計画を。市のほうが作っていく時に、花と緑あふれるまちづくりを進めていくということであれば、道路を作るときに計画から少し考えていただければ有難いなと思いましたので、提案させていただきました。

#### 《市長》

計画では木があって、花ということになっていますので、ある程度そういうことを考えて植えないと、後から困るということですね。ありがとうございます。よく調べて、させていただきます。ご提言いただきましてありがとうございます。今日は市のほうが教えていただくことがとても多くてうれしいです。ありがとうございます。

#### 《参加者〇さん》

花いっぱい運動のことです。第1回目で15件しか応募がなかったということで、寂しかったので、今年は量も推進するようにと。私も機会がありまして、県の地球温暖化防止活動推進員もやっており、県のほうは、環境省から県の緑のカーテン普及で昨年から取り組んでいます。県は昨年からの緑のカーテンを、それはかなり全国緑化予算がついて、結構立派な資材を一式すべて用意するので。単年度で終わると言っていたのを、今年まだもう1年、少し減額して増やそうということで、倉敷市内の学校へ回って、ついでに市の花いっぱい運動と両方を推進しています。学校でもかなり立派な花壇とか作っているんです。でも自信なさそうに言うのは、なぜかなと考えていたら、市の花いっぱいコンクールの審査基準がかなりきつい。昨年優勝された方を見ましたけど、レベルが高い。レベルが高い人ばかりが応募しているから、自分ではダメだろうとあきらめるところが多い。この基準を見て、これだけ書いたら普通の人では趣味くらいでは難しい。基準は審査だからあるんでしょうが、そこまで最初に書く必要がないんじゃないかと思いまして。県は応募しやすいようにしています。市の基準は6項目あるでしょ。

#### 《市長》

なるほど、審査基準が書いてありますね。生育状況・デザイン、審査基準をここに書くからいけないんですね。審査をする人が見ればいだけで。来年からこれはやめましょう。

### 《参加者Oさん》

多く募集してもらおうと思ったら、基準も甘くして。それと参加者に賞でも与えるように、まだ1回目2回目なんで、そういうことをしなかったら、県の基準に比べれば。

それと募集要項の県のパンフ、連島神亀小が県下最優秀で1位になりまして、それを色々なところで、宣伝に使ってくれています。もう1冊の裏のほうにも使ってくれています。受賞も県下1位になるとも想像もしていなかったので、大喜びでまたより頑張るということで。神亀が手本となって、今年は市内の大規模校がかなり増えて取り組みます。

### 《市長》

わかりました。ありがとうございます。優勝したら、それが来年度のために、皆さんのよく目に触れるようにしたほうが良いですね。改良しましょう。

### 《参加者Pさん》

花や緑や野鳥に深く関わり、大好きな者です。皆さん方にも大変お世話になっています。花と緑あふれるまちづくりということで、市長がトークを開かれたというのは、大変うれしく思っておりますし、機を得たと思っております。ところで市長、これだけの市民の皆さんが集まって、関心を持ってくださるとんですけど、最後にきついことを言わしてもらいます。先ほど、市のほうの窓口一本にということがありましたけど、私の持論ですけど、花のことになる公園緑地です。緑のことも一部ありますけど。山に木を植えようと思ったら、農林水産課です。緑のカーテンだとか太陽光発電になると、環境対策室。分かれとるものですから、それぞれ職員が一生懸命、自分の受持ち分野をやっとられるんですけど、私が見ると実効があがっていない面も多分にあるんです。しかも職員も減している分もある訳です。そこに水島の連島園、連島中央1丁目の市が持っている市営の育苗をする、苗を育てる育苗園がある。苗圃・苗園と書いて、従来から苗を育てたり、皆さんから緑のリサイクルをして、それをあそこに移して、2年に1度市民の皆さんにお配りしとんですね。今までだったら水をやる囑託員を、配置してあった。ところが、たぶん誰もおられないんじゃないかと思うんです。それでは、さっきからも水の話がでましたけど、花にしる、木にしる、水が命ですから、そういう人を是非、配置してもらいたいと思います。

更に、倉敷市は大きな公園がない。岡山へ行けば立派な公園があり、玉野へ行けば深山公園があり、総社へ行けば砂川公園があるんです。市民に結婚や誕生の記念樹を配っても、それを植えないというマンションの時代です、そういうのをまとめて植えられる場所を市で確保してほしい。大は小でも植物園を作ってほしいというのが、要望でございます。

### 《市長》

植物園ですね。先ほど言われた結婚記念の木を植えるところがないというお話は良く聞くお話です、マンションの方とか。植物園なのか、そういう場所を市の保有しているところで見つけることができるか、どういう形になるかわかりませんが、今すぐお答えできるようなお話ではありませんので、考え方はよくわかりました。植える場所がないという方にも植えていただけるような、しばらくして成長を楽しみにという考え方もよくわかりましたので、検討させていただきます。

#### 《参加者Qさん》

水島のおかみさん会から参りました。時間がきましたので、かいつまんで申し上げます。商店街に設置しているフラワーポットについて、一番最初にお話がでたんですけど、お聞きしたいなと思います。今日お願いしたいのは、アーケードを取りました時に、下にフラワーポットはなかったんです。陽が当たらないところにはないということで。これから水島のリフレッシュ構想で、商店街が舗装されてきれいになる、私たちも楽しみにしていますので、そこに花と緑できれいに飾りたいなと思っています。今のポットは最初の方が言われたとおり何年も経ちますが、長持ちしています。自動車がぶつかっても壊れない、かなり重いんですけど、ちょっと動かせるようなもので、早めに作っていただいたらうれしいなと思います。どうぞよろしくをお願いします。

#### 《市長》

ありがとうございました。植え替えの時期の話も先ほどの方も言われましたが、活用してもらえるようにしてもらえたらと思います。アーケードを取ったところのフラワーポットにつきましては、検討させていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

#### 《参加者Rさん》

連島南の私たちのまちを考える会の者です。連島南中学校北側の市道沿いになでしことガザニアが黄色とピンクできれいに咲いていますので、見てやってください。公園緑地課から花の苗を年3回、650本ずつ頂いているんですが、私たちのグループはどこからも支援されていません。苗をいただいた時に、650本の苗を植えたことがわかるような、写真を添えての報告書の提出を求められるわけです。その報告書を出すために郵便局に行って、封筒と切手を買わなければいけない。ボランティアグループに支援していただければ、報告書の提出依頼をされるときに、返信用の封筒だけでも中に入れていただければ。郵便局へ走ったり、切手を買ったり、市役所へ報告書の提出に行かなきゃいけないとか。草取りで忙しい身ですから、そういうところがいきあたりませんので、ささやかな思いやりがボランティアグループを育てると思っていますので、よろしくをお願いします。

#### 《市長》

先ほどの方も報告書が難しいとか、審査基準が厳しいとか課題があると思われましたので、見直せるところからやっていくようにしたいと思います。ボランティアの皆さんにやっていただいて、大変有難いと思っています。今日、花と緑のことに关しまして、大変多くの皆さんからご意見、市へ改善したほうが良いとか参加者の方に対するアドバイスとかをいただきました。今日いただきましたご意見を参考に、今後の市政を進めていきたいと思っています。本日は誠にありがとうございました。